

-----  
[ 成果情報名 ] 集合フェロモン剤に誘引されたチャバネアオカメムシの分布

[ 要約 ] 合成集合フェロモン剤に誘引されたチャバネアオカメムシ成虫の定位範囲（とまる範囲）は風下側約80m、風上側約40mである。しかし、風下側40m、風上側10m付近では定位数がフェロモン剤付近の1%以下に減少する。

[ キーワード ] チャバネアオカメムシ、集合フェロモン

[ 担当部署 ] 病害虫部・虫害チーム

[ 連絡先 ] 092-924-2938

[ 対象作物 ] 果樹

[ 専門項目 ] 病害虫

[ 成果分類 ] 生理生態

-----

[ 背景・ねらい ]

果樹カメムシ類の誘導防除試験では果樹園地帯に多くのフェロモントラップ（誘殺装置）を配置する必要がある。これまでの研究結果から、集合フェロモンに誘引されたチャバネアオカメムシのとまる範囲（定位範囲）は誘引源から約15m程度とされていたが、現地試験の結果から定位範囲がさらに広いことが示唆された。そこで、誘引虫の定位特性を再確認し、果樹園地帯にフェロモントラップを設置するための条件を明らかにする。

[ 成果の内容・特徴 ]

- 1 . 集合フェロモン剤に誘引されたチャバネアオカメムシ成虫は風下側約80m、風上側約40mまでの範囲に定位する（図1）。
- 2 . 定位する成虫数は、誘引源から約5m付近では誘引源付近とほぼ同程度であるが、それ以降は距離が離れると共に減少し、風下側40m付近では誘引源付近の約1%、50m付近では約0.1%となる（図1）。
- 3 . 集合フェロモン剤への飛来数が少ない場合でも、定位虫数が誘引源付近の約1%となるのは40m付近であり、飛来数が多い場合と同様な傾向を示す（図2,3）。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1 . 現地果樹園地帯にフェロモントラップ（誘殺装置）を設置する場合に参考となる

[ 具体的データ ]

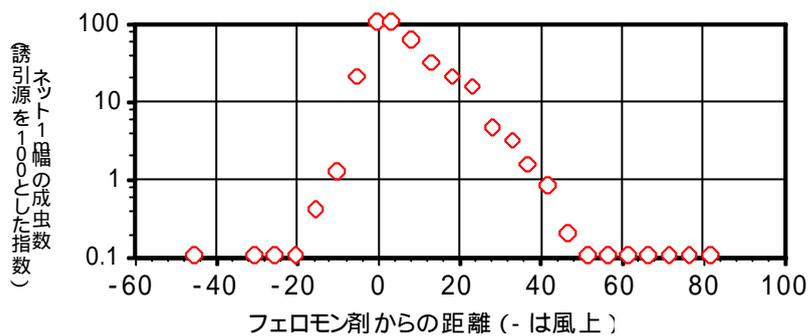


図1 集合フェロモンに誘引されたチャバネアオカメムシの定位範囲-1 (7/21、誘引源付近約10000頭)

- 注) 1.成虫数は高さ3mの防風ネットの幅1mにとまった数 (図2,3も同じ)  
 2.フェロモンルアー1本を17時に取り付け21時に調査した(図2,3も同じ)

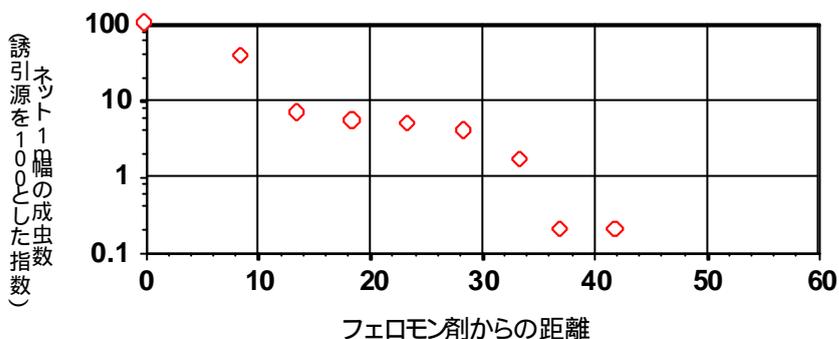


図2 集合フェロモンに誘引されたチャバネアオカメムシの定位範囲-2 (7/22、誘引源付近450頭)

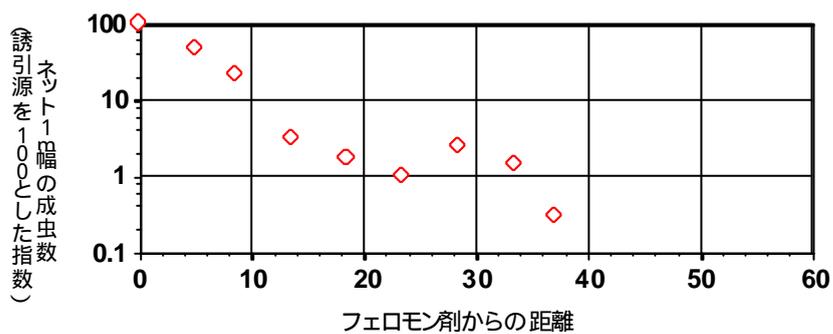


図3 集合フェロモンに誘引されたチャバネアオカメムシの定位範囲-3 (7/23、誘引源付近290頭)

[ その他 ]

研究課題名：果樹園侵入回避技術の確立・実証  
 予算区分：国庫受託（農林高度化）  
 研究期間：平成16年度（平成16～18年）  
 研究担当者：堤 隆文、手柴真弓

